INNOVATION LAB ASIA

CONNECTING JAPAN & THE NORDICS

NordicMade

ニュースレター#8
2020年11月06日

北欧イノベーションエコシステムニュース

北欧諸国といえば各種世界ランキングで上位国の常連と言われています。そしてそれはAI分野も例外ではありません！ Oxford Insightが2020年9月25日に発表した「AI導入に備えて政府として必要な能力や実現可能な要因」を調査する「政府のAIレディネス」ランキングによると、今年はフィンランド3位、スウェーデン5位、デンマーク8位、ノルウェー10位、エストニア17位（日本は13位）という結果が出ました。

公平を期すために付け加えておくと、これはAIの実際の導入状況や、AI技術のエコシステムの強さを示すランキングではなく、「AI開発を後押しするための必須条件―デジタル社会、デジタルに精通する市民、およびデジタル化の価値を理解してそれを推進していく政府」を表しています（e-Estonia.com）。

本号では、北欧のAIエコシステムの概要について簡単にご紹介します。そして大切な情報として詳細の入手先についてもご紹介します。

概してスウェーデンとフィンランドは、AI国家北欧の中でリーダー格の国々です。スウェーデン政府はAI開発を推進するための明確な戦略に沿って、昨年2月AI Swedenを立ち上げました。またWallenberg Foundationが主にWallenberg AI プログラム WASPで3億ユーロ（約366億円）を資金提供するなど、スウェーデンにはとても恵まれた環境があります。

そして今さまざまAI Sweden、Ignite Sweden、RISEは全国の優秀なAIスタートアップのスクリーニングを行っています。先週までは90社のスタートアップがスウェーデンAIランドスケープマップで紹介されました。今後もまだその数は増えるかもしれません。登録の締め切りは10月30日です。

フィンランドはAIトランスフォーメーションを社会全体の取り組みとし、AIで卓越するための幅広い対策を行ってきました。その一例がヘルシンキ大学とReaktor VenturesがAI開設したElements AI Program。無料でAIの基礎が学べるオンラインコースで、これまでに50万人を超える人々が受講しています。

2020年9月、FAIA（Finland's state funded Artificial Intelligence Accelerator、フィンランド国家出資による人工知能アクセラレーター）は、フィンランドのAIセクターの展望についてまとめたレポート "State of AI in Finland"（"フィンランドのAI事情"）を発表しました。報告書によると、フィンランドには400社を超えるAIスタートアップがあり、一年に50社近くが起業しているとのこと。2020年度のグローバルスタートアップエコシステムレポートでは、ヘルシンキをロンドン、ベルリンと並ぶヨーロッパのトップAIエコシステムに位置づけています。フィンランドのAI関連スタートアップはヘルシンキ市だけでなく、海外投資家にとっても注目株でしょう。

また他の北欧諸国も比較的AIエコシステムが強いとされています。最新のマッキンゼー社の調査(2019)では、「デンマークは様々なAI分野の中でも特にアルゴリズム、オーディオやロボティクス、コンピュータービジョンの機械学習、そして自然言語処理などで強かな環境下にあり、これらの研究において最前線の国」と記しています。

北欧のAI関連企業は世界的な知名度は決して高くなく、そのスタートアップの多くはステルスモードを使用しています。とはいえ、ヘルスケアやサイバーセキュリティ分野の北欧AI企業は急速に増加していて、北欧は今後もこの分野でエコシステムのリーダー格であり続けると予測されています。そしてRealeyes、Verifi、Transferwise やBoltなどビストニアのAIスタートアップ企業はすでに日本の投資家から資金を獲得しています。

ディープテックも北欧が得意とする分野です。北欧AIコミュニティの支援団体、非営利でコミュニティベースのNordic.AIは400社を超える北欧のAIスタートアップと活動を共にしていますが、その多くがこの分野の企業です。
北欧のAIエコシステムに関心のある方は是非お問い合わせください。お探しの人材や組織と皆様をお繋ぎいたします。

北欧ニュースダイジェスト

- SE Einride、自律走行トラックの開発に向け、Norrsken、EQT Ventures、Nordic Ninja、Ericsson Venturesより約10億4000万円の資金を獲得。
- NO ノルウェーのエドテックユニコーンKahoot、ソフトバンクより約225億6000万円の巨額資金を調達。
- NO My Voice、音声分析ソリューションにProventureの率いるラウンドで約3億3000万円の資金を獲得。
- EE エストニアの国営VC管理会社SmartCap、ハイテク企業資金におよそ6億1200万円を増資。
- DK PreSeed Ventures、プレシード段立支援のための約42億8900万円のPSV Tech01 ファンドを発表。
- FI ブロップテック企業Kodit、資金ラウンドを約222億5000万円で完了。
- ICE Sidekick Health、ゲーム型デジタル治療ソリューションに約20億8300万円を獲得。

「ATTRACTIVE.AI」インタビュー

テックソリューションの内容や分野は？ Attractive.aiはサイトのユーザーエクスペリエンスを評価するためにヒューマンインタラクションをシミュレートするボットです。デザインやインタラクションなどのユーザーの使い勝手をスクリーニングし、どこを改善するべきか、どのようにそれを進めるかを分析します。顧客相手の大半は北欧諸国ですが、日本にも広がり始めています。当社のサービスは今現在、英語と日本語のみで行っています。

なぜ日本のイノベーションエコシステムや市場に関心が？ 北欧ではデザインを駆使して優れたデジタル体験を生み出すことを重要視してきました。日本ではオンラインアプリケーションやホームページのUXに関するデジタルマーケットは他の経済分野ほど発展していません。この点で私たちは北欧のデザイン文化を日本に付与したいのです。一方で、日本は北欧のカスタマーサービスのレベルアップに大いに貢献してくれるのではないかと思っています。日本は「おもてなし」と呼ばれる素晴らしいカスタマーサービスで知られています。そこで私たちはこの二つのアプローチを組み合わせて新しいハイスタンダードのUXを創り出すという、名づけて「デジタルおもてなし」のコンセプトを日本と協力して大いに発展させていけるのではないかと考えています。

日本での実績を活用している組織や行政機関の成功事例はある？ 北欧と日本は文化的な相性はいいものの、残念ながらその成功事例は多くはありません。その中でSLUSHは日本で最大級の英語テックサミットと呼ばれるようになった小規模イベントの好例です。またNordic Ninja VCも北欧と日本両地域の投資家を結んでいる成功例と言えますね。

日本でどのような人々にアプローチしていきたいですか？ 当社にはサッカー選手の本田圭佑氏やシリアルアントレプレナーの島田遼朋氏ら、すでに日本の投資家がいます。私たちはオンラインプレゼンスが必要なビジネスを行う企業向けに、オンライン予約システムやEコマースプラットフォームを構築しているプロフェッショナルを求めています。そして事業開発企業やマーケティング代理店が提供しているパッケージに当社のサービスを取り込めば、双方にとっても互いに有益だろうと私は思います。

名前:	クリストファー・ローソン
役職:	CEO & 創設者
社名:	Attractive.ai（アトラクティブ・エーアイ）
エコシステムの所在地:	フィンランド、ヘルシンキ
設立:	2019年
連絡先:	setok@attractive.ai

お知らせ

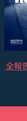
イベント

11月 17-19日 Sweden Innovation Days – ソリューションの発表、トーク、マッチメイキングなど、スウェーデンのエコシステムを繋ぐ三日間。今年のスペシャルテーマはAI。

アクセラレーター

X-Hub Tokyo Global Accelerator program – 東京進出を目指すフィンテック、モビリティ、ライフサイエンス分野のスタートアップ向けプログラム。応募締め切り11月30日。

編集者



ピーター・ヨハンセン
プロジェクトマネジャー
pj@asia-house.dk

ユリアン・森江・原・ニルセン
日本担当コンサルタント
jni@techbbq.org

INNOVATION LAB ASIA

「イノベーション・ラボ・アジア」はデンマーク産業財団の支援のもとでAsia HouseとTechBBQが共同で運営するプロジェクトです。詳しい内容については以下からご覧ください。

報告書（日本関連）

全報告書

ASIA HOUSE
INDUSTRIENS FOND
TECHBBQ
COPENHAGEN CAPACITY
Startup Norway
ICELANDIC STARTUPS
NordicNinja
mania 01
NORDIC VENTURE NETWORK
NORDIC MAKERS
Startup Extreme
INNOVATION SWEDEN